

八木小学校でつきたい力 学年目標

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は欠かすことができない「生きるための力」の一つです。

学校では、この生きる力の基となる基礎学力を高めるために日々努力していますが家庭と連携することで、さらにその力は何倍にも高められます。つまり、家庭学習の習慣化が子どもの「生きる力」を高めるのです。この家庭学習の手引きを活用し、家庭学習の習慣化を進めていきましょう。

1. 家庭での学習を習慣化しよう

* 学習時間のめやす

低学年30分 中学年40分 高学年60分

* 学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起き。
- 朝食は必ずとる。
- 朝の排便。
- テレビは1日2時間までがよい。
(ゲームも時間を決めて)
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家の手伝いを毎日続ける。

* 学習のポイント

- 自分で時間を決めて、毎日学習する。
- テレビを見ながらしない。(集中する。)
- 姿勢を正し、机の上をきれいにしに行く。

・慣れないうちは、居間や食卓でやってもよい。

2. 家庭学習の参考例(各学年共通)

国語

- ・漢字練習・意味調べ・視写。
- ・日記・音読。
- ・漢字テストで間違った漢字を覚える。
- ・学習プリントの間違い直しをする。

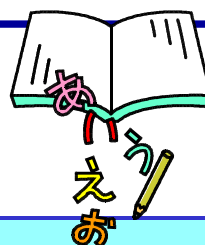
算数

- ・計算練習・百ます計算。
- ・テストで間違った問題をもう一度ノートに写して解いてみる。

社会・理科・総合

- ・勉強したところに関係がある事柄を本や資料集・ホームページなどで調べてまとめる。

* 市販のドリルや問題集などに取り組んでみるのもいいでしょう。



3. 家庭の中で見えない学力をつけよう。

ア 読書をしよう。(読書は「見えない学力」を高めます。)

イ 国語辞典・漢字辞典・その他の事典や図鑑を身近に置いて調べよう。

ウ 日本地図・世界地図を身近に置いて調べよう。

エ ニュース番組を親子で見て話し合おう。

オ 百人一首など詩歌の暗唱をしよう。

カ 小学生新聞など、新聞を読もう。

キ 頭をはたらかせるゲーム(将棋・囲碁など)をしよう。

ク 自然や生き物とふれあい、くわしく観察しよう。



1年生

- ①鉛筆を正しく持って字が書ける。
- ②ひらがな・カタカナが読めて書ける。
- ③助詞「は」「へ」「を」を文の中で正しく使うことができる。
- ④80字の担当漢字がすべて読め、8割の漢字が書ける。
- ⑤順序よく話すことができる。
- ⑥大事なことを落とさずに聞くことができる。
- ⑦たし算・ひき算ができる。

2年生

- ① 160 字の担当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②順序よく話をするができる。
- ③九九がすらすら言える。
- ④定規を使って筆算をきれいに書きながら計算できる。
- ⑤決められた長さの直線を正しく引ける。



3年生

- ① 200 字の担当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②国語事典が正しく使える。
- ③ローマ字を使って簡単な単語の読み書きができる。
- ④百人一首などの詩を暗唱することができる。
- ⑤かけ算の筆算ができる。
- ⑥コンパスを使って簡単な図形がかける。
- ⑦わり算ができる。
- ⑧いろいろな単位の意味がわかる。

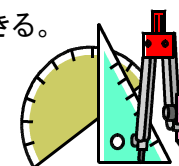
4年生

- ① 200 字の担当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②漢字辞典が正しく使える。
- ③わり算の筆算ができる。
- ④分度器を正しく使える。
- ⑤地図を使って地名が調べられる。
- ⑥47 都道府県の位置が分かり、都道府県名を正しく書ける。



5年生

- ① 185 字の担当漢字がすべて読め、8割の漢字が書ける。
- ②国語の教科書教材をすらすらと読むことができる。
- ③小数のかけ算・わり算ができる。
- ④分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤英語で簡単な挨拶ができる。
- ⑥日本と関わりの深い国や地域の名前を10カ国以上言うことができる。



6年生

- ①小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②読書の習慣を身につける。
- ③歴史に残る古文のいくつかにふれ、暗唱できる。
- ④分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ⑤歴史上の事件や人物についてだいたい説明できる
- ⑥理科の実験道具の正しい扱い方がわかる。